

# プレスリリース

報道関係者各位

令和7年9月10日  
高松自動車学校  
株式会社T・D・S

## 9月21日高松自動車学校が交通啓発イベントを開催 警察・企業・学校と連携し、交通安全を地域ぐるみで推進

高松自動車学校（株式会社T・D・S 高松市上天神町646番地／代表取締役：富家嘉顕）は、高松南警察署、JAF（日本自動車連盟）香川支部、あなぶきハウジングサービス、穴吹ビジネスカレッジと連携し、9月21日に、秋の全国交通安全運動にあわせた交通啓発イベントを開催します。

本イベントは、地域住民一人ひとりが交通安全を“自分事”として考え、日常の行動につなげてもらうことを目的とした体験型プログラムです。



令和5年実施：特定小型原動機付自転車の勉強会の様子

### ■ 開催目的

今年5月、高松市番町の市道交差点で、自転車に乗っていた母親と子どもが巻き込まれる交通事故が発生しました。この事故は、「誰もが、被害者にも加害者にもなり得る」という交通社会の実態を示すものです。交通事故は、決して遠い誰かの出来事ではありません。日常のすぐそばに潜む危険に、地域の皆さま一人ひとりが気づき、備えることが大切です。

こうした背景を踏まえ、地域の交通安全意識を高めることを目的とした、交通啓発イベントを開催します。本イベントでは、交通事故のリスクを「見て」「触れて」「体験する」ことができる多様なプログラムを通じて、運転する大人はもちろん、子どもたち自身にも、楽しみながら「自分の身を守る力」を体験を通じて学び、日常の行動を見直す第一歩にしていいただければと考えています。

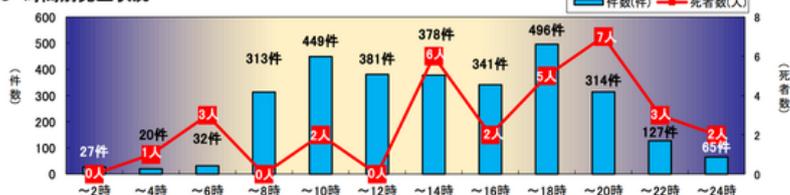
### ■ 香川県の交通事故の特徴

香川県における交通事故の発生件数は、令和2年の3,722件から令和6年には2,943件へと、減少傾向にあります。これは、運転免許保有者数が令和2年の671,193人から令和6年には660,616人と約1万人減少していることや、道路交通環境の整備、交通安全思想の普及などが影響していると考えられます。

一方で、香川県における交通事故の特徴としては、薄暮時の事故、自転車が絡む事故、生活道路での重大事故が多いことなどが挙げられます。令和6年の香川県警の統計によると、10時～14時の交通事故死者数が8人だったのに対し、16時～20時の夕暮れ～夜間では14人と、約2倍に増加。

また、自転車が関与した事故総数544件のうち、226件が20歳未満の若年層によるものでした。さらに、国道での死亡者数が7人だったのに対し、地方道や市町道では23人と、通学路や住宅街といった生活圏で、より深刻な事故が起きている実態も明らかになっています。こうしたデータからも、若い世代への交通安全教育の必要性や、自分の身を守る意識の啓発がますます重要となっています。

5 時間別発生状況



5 年齢別発生状況

年齢別	件数	死者数
10歳未満	11件	0人
20歳未満	226件	0人
30歳未満	56件	0人
40歳未満	36件	0人
50歳未満	33件	0人
60歳未満	43件	1人
65歳未満	21件	0人
65歳以上	118件	7人
合計	544件	8人

4 路線別発生状況

路線	件数	構成率	死者数	構成率
高速道路	25件	0.8%	1人	3.2%
11号	456件	15.5%	4人	12.9%
30号	12件	0.4%	1人	3.2%
32号	79件	2.7%	1人	3.2%
438号	18件	0.8%	0人	0.0%
その他	112件	3.8%	1人	3.2%
小計	677件	23.0%	7人	22.6%
主要地方道	549件	18.7%	9人	29.0%
その他	515件	17.5%	7人	22.6%
小計	1,064件	36.2%	16人	51.6%
市町道	965件	32.8%	7人	22.6%
その他	212件	7.2%	0人	0.0%
合計	2,943件	100.0%	31人	100.0%

※交通事故発生状況(令和6年中)

## ■ 地域の交通安全センターとしての取り組み

本イベントは、秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）の期間に合わせて実施します。運動の重点項目である「反射材の着用促進」「飲酒運転等の根絶」「自転車・特定小型原動機付自転車のルール理解」に対応した体験型プログラムを展開します。本校の広い教習コースを活用し、飲酒による身体への影響を疑似体験できるプログラムや反射材の効果をゲーム形式で学ぶブース、特定小型原動機付自転車（いわゆる電動キックボード）の乗車体験などを実施予定です。

これらのプログラムは、香川県の交通事故の特徴や傾向を踏まえ、地域の実情に即した内容としています。交通事故のリスクに対する理解と、日常に潜む「ヒヤリ・ハット」への気づきを促すことで、一人ひとりが自らの行動を見直すきっかけとなることを目指しています。

## ■ 効果と展望

本イベントを通じて、地域住民が交通ルールや事故の危険性を自分ごととして捉え、交通安全への関心と理解を高めるきっかけをつくります。

体験型プログラムでは、親子で飲酒運転の危険性を疑似体験することで、大人は改めてそのリスクを認識し、子ども自身も「飲酒運転はだめだよ」と伝えられるようになるなど、家庭内での意識変化にもつながります。

さらに、反射材の重要性をゲームを通じて学び、その場で配布された反射材を日常生活に取り入れることで、安全行動の定着を促進します。それに加えて特定小型原動機付自転車の正しい乗り方や交通ルールへの理解が深まるとともに、シェアサービスなどの新しい交通手段に対する認知度の向上が期待されます。

今後は、地域の企業や教育機関と連携しながら、自転車乗車時のヘルメット着用や「ながらスマホ」の防止など、若年層を対象とした啓発活動にも取り組み、交通事故の抑止につなげていく方針です。

# 楽しんで学ぶ 交通安全フェスタ

“ニュースで見る事故”はどこかの誰かの事故じゃない。  
日常に潜む危険を見て・体験して・学ぼう

**9.21 日 9:30-13:30** ☁️雨天決行 ☁️荒天中止

📍 IN 高松自動車学校 (高松市上天神町)

**白バイ  
パトカーの  
乗車体験**

子ども安全  
免許証が  
作れる

子どもの  
警察制服で  
写真撮影

キッチンカーもくるよ

LUUP  
乗車体験

安全免許証

交通安全講習券

交通安全講習券  
2020年3月9日

交通安全講習券  
2020年3月9日

交通安全講習券  
2020年3月9日

# 楽しんで学ぶ体験エリア

**飲酒疑似体験**  
飲酒ゴーグルをかけて  
家族やお友達と対決！  
時間内にゴールできるかな？

**夜間反射材体験**  
真っ暗な部屋でライトを使って  
隠れキャラを探そう！  
全部見つけられるかな？

**電動キックボード  
電動アシスト自転車**  
車両を見て  
触れることができるよ  
お父さんお母さんが乗っている  
かっこいいところを見よう

## LUUP試乗エリア

自動車学校ならではの広いコースで  
実際の道路を想定したコース走行が体験できる！

試乗タイムスケジュール

9:30 10:10 10:50 11:20 11:50 12:30

※試乗は16歳以上のみとなります。140cm未満の方はご利用いただけません。  
また、電動アシスト自転車の総重量は100kg、電動キックボードの総重量は120kgとなります。

**交通啓発動画**

穴吹ビジネスカレッジ  
ネット動画クリエイター学科の生徒さんが  
楽しく交通を学べる動画を作成  
校舎内のモニターで放映中！  
その他、高松第一高校の生徒さんによる  
交通啓発動画などもお楽しみいただけます

**スタンプラリー**

交通安全を正しく学んで  
スタンプを集めよう！  
全て集めたら  
プレゼントがあるよ！

高松自動車学校 高松市上天神町646 087-867-7439

協力：高松南警察署 JAF（日本自動車連盟香川支部）  
あなぶきハウジングサービス  
穴吹ビジネスカレッジ ネット動画クリエイター学科

087kitchen 将軍武田屋

## ■ イベント詳細

日時：令和7年9月21日(日)9:30～13:30

場所：高松自動車学校

主催：株式会社T・D・S

共催：高松南警察署・JAF（日本自動車連盟）香川支部

あなぶきハウジングサービス・穴吹ビジネスカレッジネット動画クリエイター学科

## ■ プログラム

- ・ 飲酒運転根絶ブース
- ・ 反射材着用促進ブース
- ・ 特定小型原付試乗ブース（Luup）
- ・ 子ども安全免許証作成
- ・ パトカー、白バイ体験エリア
- ・ 休憩エリア（キッチンカーなど）